

警備計画書等作成業務プロポーザル審査基準

- 1 審査項目及び各項目の配点は表1のとおりとし、表2の各選定委員（7名）が採点する。
- 2 企画提案書の中で最高点と評価した選定委員の数が最も多かった者を契約候補者とする。
なお、該当者が複数あった場合は、平均点が最も高い者を契約候補者とする。平均点の最も高い者が複数あった場合は、選定委員会で協議の上、契約候補者を選定する。
- 3 平均点が60点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として選定しない。

(表1)

(100点満点)

審査項目	評価内容	配点
1 業務実績・体制等		
(1)企業の業務実績	◇過去10年間（平成23年度～令和2年度）に、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、全国高等学校総合体育大会、全国植樹祭、全国豊かな海づくり大会、その他の行幸啓又は行啓行事における業務実績を有しているか。	5
(2)業務実施体制	◇本業務の目的達成に向けて、効率的かつ実効性が期待できる適切な業務実施体制になっているか。 ◇責任体制が確立しているか。	10
(3)配置予定各責任者の業務実績	◇上記(1)に同じ	5
2 提案課題		
(1)自主警備・交通警備実施の基本的考え方	◇自主警備・交通警備を実施する上で、具体的な課題を想定し、実現性の高い対応方法が考えられているか。	10
(2)入場者管理の徹底と入場時の混雑対策	◇ID確認所、入場口の運営について、感染症対策に配慮した上で、効率的で実効性の高い方法が提案されているか。 ◇入退場時の滞留や混雑について、効果的な予防策及び対応策が提案されているか。	10
(3)大規模災害発生時における安全確保	◇具体的な災害を想定し、実現性の高い安全確保対策が提案されているか。 ◇避難に支援が必要な高齢者、障害者、乳幼児等の要配慮者に配慮した対策であるか。	10
(4)妨害行為、テロ等の不法事案の防止	◇妨害行為やテロ等の不法事案に対する防止対策について、具体的な課題を想定し、不審者、不審車両、不審物件（無人航空機含む）の警戒を含め、実現性の高い対応方法が提案されているか。	10
(5)警備機器の有効活用	◇ID確認所や入場口の入場者管理、混雑が予想される場所を含めた会場管理等に有効な警備機器設置が提案されているか。 ◇警備機器の費用対効果は適正か。	10
(6)円滑な交通誘導	◇会場周辺の交通事情に配慮し、安全で円滑な交通誘導を行うための対策が提案されているか。	10
(7)警備員の確保及び教育・訓練	◇具体的で実現性の高い警備員の確保方法が提案されているか。 ◇警備員の質を高めるための具体的で実現性の高い教育・訓練法が提案されているか。	10
3 業務運営管理	◇作業工程に無理がなく、作業手順は効率的なものか。 ◇警備計画書作成業務、警備実施業務の業務管理能力を有しているか。	5
4 参考見積	◇積算根拠が明確に示され、参考見積が適正に作成されているか。	5

(表 2)

番号	役職	所属及び職名
1	委員長	県実行委員会事務局長
2	副委員長	県実行委員会事務局次長兼総務企画課長
3	委員	県実行委員会事務局施設調整課長
4	委員	県実行委員会事務局員（施設調整課課長補佐(総括)）
5	委員	県実行委員会事務局員（施設調整課施設担当課長補佐(GL)）
6	委員	栃木県警察本部警備部国体・障スポ対策課長
7	委員	栃木県県民生活部危機管理課長